



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第17号

令和5年2月13日



♡ 心の教育について ♡

本校では、十四山中学校の事件を教訓に、心の教育をより大切にしていこうという思いを強くし、日々子どもたちと接しています。

そこで、「心の教育」をテーマに、2月9日（木）、6年生の授業参観、及び学校保健委員会を開催しました。授業参観では、「何で来なかったの？ ～わたしメッセージで伝えよう～」という題材で、自分の思いを相手に適切に伝える言い方を考える授業を行いました。これまでに、子どもたちは相手に伝える言い方には、受け身的、攻撃的、主体的という3通りの方法があることを学習してきました。今回は、約束していた時間に何の連絡もなく遅れてきた友達に、家族との買い物を断ってずっと待っていた自分の気持ちをどう伝えたらよいか、考える授業でした。「ひどいよ。自分勝手だね」などという、相手を攻撃する言い方（あなたメッセージ）ではなく、「私は、〇〇のとき、〇〇の気持ちだった。私は、あなたに〇〇してほしい」という言い方（わたしメッセージ）で伝えることが好ましいことを学びました。

学校保健委員会では、6年生保護者希望者、成人教育・児童厚生委員の方に参加していただき、令和4年1月から設置した「心の相談ポスト」の利用状況と相談内容について、これまでの心の授業実践について、年間指導計画についてなど、学校での取り組みを報告し、ご意見ご感想をいただきました。思春期に入る子どもたちを大人がどう支えていくか学ぶよい機会になりました。感想を紹介します。



<児童の振り返り>

- ・ 相手の気持ちを考えることができた。
- ・ わたしメッセージと、あなたメッセージはよく似ていると最初は思ったけど、意味は全然違うことが分かった。
- ・ 自分の気持ちを言葉で伝えることは大事だと思った。
- ・ ちょっとした違う言い方で相手の心の感じ方が違うから、次から言い方や伝え方を考えていきたい。

<保護者の感想>

- ・ 自分自身も自分の子どもと話をするときに、わたしメッセージで話すように心がけようと思った。
- ・ 良いことも悪いことも全部話せるように声掛けをして、話を聞くような時間を寝る前につくるように心がけている。
- ・ 学校でのトラブルをなかなか言いにくい年頃なので、『心のポスト』のようなものがあるのは、とてもありがたい。
- ・ 6年生男子の相談件数が多いことに驚いた。これまで気付かずにいたことがあったかもしれないので、子どもと話す時間を大切にしたい。



☆ お礼の会 ☆

2月10日（金）、日頃お世話になっているスクールガードさんをお招きし、お礼の会を開きました。この日のために練習してきた1・2年生が歌・ダンスの披露や肩たたきなどし、お礼の言葉を述べました。暑い日も寒い日も、いつも見守ってくださっているスクールガードの皆様、ありがとうございます。